

平成19(2007)年12月20日

### 第 36 号

発行人 世田谷稲門会 一夫次彦行  
 発行人 世田谷 享邦利明秀  
 編集 土倉島原村内  
 大寺江岩大

事務局 〒157-0067  
 東京都世田谷区喜多見4-33-25  
 川村保夫 方  
 TEL/FAX03-3417-7104

# 世田谷稲門会会報

## 創立125周年式典



記念式典で挨拶する白井克彦総長(関連記事2面・3面)

### 映画上映とチアリーダー出演 新春懇親会

一月二十六日(土) こまばエミナースで

平成二十年度新春懇親会は「稲田大学」(無料)を上映、一月二十六日(土)午後四時(開場三時半)から「こまばエミナース」で開催することになった。

今回は創立百二十五周年記念の一環として第一部で映画「早

### 『映画・早稲田大学』 上映に当たって

幹事長 鈴木 宏治

この度、新年会において早稲田大学創立百二十五周年の当会の記念企画として、昭和二十八年・東映映画作品『早稲田大学』を上映することになった。これは東映株式会社、日本映画監督協会、日本シナリオ作家協会など関係各位の

新聞広告 昭28.9



ご協力の基に実現出来るものである。

原作は尾崎士郎、脚本・八住利雄、監督・佐伯清で、出演は佐野周二、山根寿子、小沢栄、船橋元、千田是也等、

当時の第一線の錚々たる役者揃いである。映画は明治十五年の大隈候による『東京専門学校』創立から始まり、明治

四十年の校歌誕生、大正六年の学校騒動へと進み、大隈総長死去から昭和年代に入り、戦争・学徒出陣へと続く。更に敗戦を経て戦後のアルバイト、レッドパーシ、早大事件などが織り込まれる。

また政治家としての大隈候の姿にも触れられる。登場人物としては、大隈重信総長を初め小野梓、坪内逍遙、高田早苗、石橋湛山など多彩で、

当時の藩閥政治の弾圧に對抗する大隈総長の剛腹な精神と実行力、総長の周りに集まる教授達の支えあう血の努力が汲み取れる。こうした気風が学生達にも浸透し、今日の早稲田大学へと発展する様が描か

れる。一貫して『学の独立』を守ろうとする大隈精神をもう一度思い起こしてみる絶好のチャンスとも思える。

縦糸に親子・兄弟にわたり、早稲田に学ぶことを誇りにする人達のが好意的に描かれ、映画のストーリーとしても面白い。

なお、今回の上映に当たっては、国分寺稲門会監事である黒川清知様のご好意及びご協力により実現できたこと、また再三の折衝に快く対応下さった東映(株)の塩沢様、早稲田大学の関口課長様に感謝の気持ちを表したいと思います。



# 稲門祭盛大に挙

11月20日(土)  
11月21日(日)



大学構内でも125周年で盛りあがる

創立百二十五周年記念稲門祭と記念式典は十月二十一日の両日快晴の下開催され、校友の来校は両日で約五万人を数える盛況だった。二十日の稲門祭の行事は校友講演会、大隈庭園・大隈講堂の音楽祭、早稲田ナイトといずれも終始満員であった。また福引券の販売も順調で、総額二千九百万円(一万四千五百枚)を達成した。当世田谷稲門会も五十万円(二百五十枚)の目標を達成した。

恒例の大隈庭園での世田谷稲門会の焼き鳥は今年も女性会員の協力もあり、三十三万円の売上新記録を達成した。二十一日の記念式典も三千人の校友が参列して厳かに開催された。今回は会員及び早稲田大学広報室の協力で百二十五周年行事を紹介します。

(写真提供 川村保夫、横田吉明、大内秀行、早稲田大学広報室)



新装なった大隈講堂



大隈庭園ではさまざまな催しが



大隈講堂での音楽祭



露木茂会員(司会)と寺島邦夫会員も出演



今年も焼き鳥“世田ヶ屋”は大繁盛



# 創立125周年記念式典お厳かに



(写真①)



(写真②)



(写真③)



(写真④)



(写真⑤)

平成十九年十月二十一日(日)、母校早稲田大学は創立百二十五周年を迎え、盛大な記念式典を挙行了した。前日のホームカミングデー・早稲田祭に続いて快晴、三千人収容の記念会堂を会場に校友が全国から参集した。

開式前、露木茂アナ(世田谷稲門会会員)と菊間千乃アナの司会で、荒川静香、浅井慎平、乙武洋匡、緒方貞子、小田和正、北大路欣也の六氏からのビデオレターを放映、創立七十周年記念学生歌「早稲田の栄光」を演奏した。作曲の岩崎巖氏、作曲の芥川也寸志氏の夫人が紹介され、花束贈呈は理工学部研究室が開発した「足走行ロボット「ワピアン2R」であった(写真①)。

## 来賓多数が列席

会長 土倉 享一

方から校旗と白井克彦総長に続いて、慶応義塾大学の安西祐一郎塾長、カリフォルニア大学のC・ダインズ学長、ボン大学・M・ウィニガー学長、北京大学の岳葉欄副校長と重厚なマントをまとった来賓が次々と入場し登壇(写真②③)。

そこへ壇上に福田康夫総理大臣が現われて一段と大きな拍手が沸き起こった。

白井総長は早稲田にとって重要な「百二十五」の持つ意味を力説し、この節目を第二の建学と位置付けて次なる

百二十五年に向けて地球市民の育成を目標にまい進すると式辞を述べた。背広姿の福田総理は祝辞のなかで「早稲田出身の石橋湛山、竹下登、海部俊樹、小淵恵三、森喜朗の戦後五人の首相に次いで早稲田六人目の首相になった。私は大器ではないが晩成のようだ」と笑わせ、「早稲田精神は校歌二番の、♪東西古今の文化のうしほ、一つに渦巻く大島国の・♪に象徴されていると思う」と強調し、国際化時代の国政を担う心境をうかがわせた(写真④)。

各学長の祝辞が続いて、最後に百二十五名の合唱団が並び、参集の校友ともども校歌を斉唱(写真⑤)。

来賓の退場を拍手で送って百二十五周年の記念式典の幕を閉じた。(写真⑥大隈講堂前)



(写真⑥)



## 部会だより

## スポーツ観戦

秋季六大学野球リーグ戦は、早慶明の3校が三つ巴となり、早慶戦に勝利した方が優勝でした。10月27日早慶1回戦は雨で中止となり、翌28日(日)の試合は両校のエース対決となり熱戦が展開され延長12回、激戦の末0-1の措敗でした。慶応の加藤投手は30勝を達成し、早稲田は大手をかけられました。しかし振り替え観戦日の29日(月)は30名が観戦に行き、試合は早大松下投手の好投で2-0で雪辱し1勝1敗にこぎつけ最終戦が決勝戦となりました。

(追記) 第3戦は2度目のエース対決となり、早稲田は初回加藤を攻めトップの上本が出塁し好走、連打で4点を奪い斉藤投手が好投し7-0の完封勝利でした。あたかも創立125周年記念を祝うリーグ戦3連覇と40回目の優勝でした。

次はラグビーです。対慶応、明治に連勝し完全優勝、連覇が期待出来ます。(岸田 正和/記)



## 写真

今年も新年会において写真展を開催しご覧頂きましたが、昨年に続いて前回の会報にも写真部会員の作品を掲載して頂き有難うございました。如何ご覧頂きましたか。今年は昨年より2名増えて14名の参加になりました。写真部会の活動としては例会以外に撮影会を2回開催致しました。第1回は5月2日に新緑(春紅葉)を狙って「奥多摩」に出かけました。事前に新緑の状況を入手しまして、奥多摩の奥「日原」に直行しましたら、幸いにして素晴らしい「新緑」に遭遇出来ました。第2回は7月7日に「奥多摩の滝」を目標に出掛けました。「海沢(うなざわ)」の「三ツ釜ノ滝」「ネジレノ滝」を撮影し、「都民の森」まで足を延ばし「三頭(みとう)大滝」を写し各回とも収穫が多く参加の皆さんは大満足されました。(各回参加者5名) 来年の新年会には引き続き第3回の展示会をさせて頂く予定ですので宜しくお願い致します。今後の例会の予定は12月20日(木)、1月17日(木)、2月は休会で3月20日(木)です。

(種谷 鴻成/記)

## 釣り

5月12日 伊東港にて堤防釣り、9名参加。鯛釣り。快晴。伊豆高原にて一泊。麻雀、宴会。20日 松輪沖利一丸仕立船にて鯖・アジ釣り。松輪鯖は関鯖同様の美味のブランド魚。大漁満杯。8名。27日 銚子外川沖中アジ釣り。92~130匹/人。3名。

6月5日 西伊豆土肥港より真鯛釣り。岩隈氏真鯛2kg釣る。鯖が邪魔し真鯛不漁、鯖大漁。2名。17日 下田須崎港より神子元島周辺。真鯛2kg、いさき36匹、メバル20匹でクーラー満杯、2名。24日 松輪沖利一丸仕立船。アジ・鯖大漁。8名。30日 江戸川、中川にて手長エビ釣り。良型。4名。

7月29日 松輪沖利一丸仕立船。アジ・鯖大漁。8名。

8月11日 千葉花見川にてハゼ岡釣り。10~12cm良型80%。50~70匹。足場良く釣りやすい。4名。18日 狩野川上流地蔵堂川にて岩魚30cm2匹他。26日 松輪沖利一丸仕立船。6名参加したが、サワラ3匹の不漁。真鯛も不漁、型見ず。31日 狩野川上流本谷川にてアマゴ3匹他。1名。

9月17日 銚子外川沖ヒラメ釣り。7名参加しヒラメ5枚。24日 木更津港にてハゼ岡釣り。8名参加。小型多い。

10月6日 松輪沖ワラサ釣り。6名参加。ワラサ7本他。

11月24日 西伊豆戸田沖仕立鯛五目釣り。民宿にて一泊。

12月25日 西伊豆戸田沖ヒラメか伊東沖カサゴ釣り予定。

1月18日 吉村部員経営の「海老専家」にて新年会。27日 久里浜沖カワハギ釣り予定。

(柴田 昇/記)





## 食べ歩き

(1)10月5日 第33回例会を開催。参加者30名。今回は虎ノ門「ヴォワ・ラクテ」でフレンチコース料理とワインの美味を堪能した。初秋の爽やかな陽光がふりそそぎ、青々とした芝生と周辺の木々の緑が調和した日本庭園を眺めながら、ここが都心かと思わせるような閑静な雰囲気の中で歓談は進み、最高の悦楽に浸った。柏良子さんのソフトな司会で進行。初参加の大野勝彦氏(昭和30年政経)、石井孝之(昭和30年商)夫人の紹介があった。大須賀肇代表世話人が挨拶並びに会務報告を行い、その中で平成18年度当部会の事業・会計・監査報告の提案を行い、満場一致で承認された。加藤栄一氏の発声で乾杯。鈴木幹事長より「早大125周年関係催事」の紹介やその他出席者から話題提供が続き、会場の雰囲気は最高に盛り上がった。岸田正和氏の中締めの挨拶で名残を惜しみつつ散会した。



(2)部会内規第5項有志世話人による旅行会。「新潟競馬観戦と下越地区観光」を5月13~14日に実施した。13日、新潟競馬場貴賓室での昼食会・競馬観戦後、岩室温泉綿屋に宿泊。夜の宴は柏良子副会長の開会挨拶で今回の設営に大変尽力された渡辺八郎氏への感謝の言葉があり、武藤哲氏の乾杯発声で盛大な懇親会が開宴した。



散会後はカラオケルームに場を移し大いに盛り上がり、懇親を深めた。創業230年の歴史と文化の漂う宿の評判の料理を味わい、源泉かけ流しの名湯に旅の疲れを癒した。翌日は田植えの終わった水田に初夏の太陽がキラキラと反射する広大な米どころ越後平野を走行。弥彦山を背景に深緑に囲まれた越後一の宮弥彦神社を参拝、国上寺五合庵では良寛の生活を偲び、寺泊では活気溢れる魚のアメ横を見学し、充実した旅行を楽しんだ。

(大須賀 肇/記)

## 囲碁将棋

### 「杉の宿」合宿

9月2日(日)朝10時。成城に集まり小田急で出発。湯河原にて昼食後「杉の宿」に1時に到着。直ちに囲碁を打ち始める。参加者は8名の総当り。日曜の昼下りのこともあり、対戦者はまばら。ゆったりとした大部屋で碁会は始まった。対局の合間を縫って三々五々に風呂に行く。ここ別館5階にある露天風呂は残暑の日差しを浴びて、周囲の山々の稜線がくっきりと見え、気持ちがいい。折しも周りの杉林からは蝉の合唱が聞こえ、最近東京ではあまり見られなくなった赤トンボが群れをなして飛びかっている。夕食まで1人平均5局打つ。武藤7段、斉藤6段、蒲原5段が勝ち進む。夕食は新鮮な魚介類の豪勢な船盛を囲んで飲み放題の懇親会。更にカラオケ部屋へと場所を移す。久し振りで、星野4段が渋い声での星野節を披露。皆感心して聴く。あっという間の約2時間。カラオケタイムは終了したが、碁吉達は再び碁盤にすいつき、夜が更けるまで打ち興じた。翌朝、眠さと僅かに残る二日酔いの中、朝食前に1局、朝食後も数局打ち囲碁三昧を満喫し、「杉の宿」をあとにした。

### 125周年記念早慶囲碁大会

早稲田大学125周年記念の一環としての囲碁大会は慶応大学の囲碁OB等を招き10月21日(日)13時より早稲田中学の講堂にて行われた。講堂に125枚の碁盤を並べて対局者、関係者合わせて総勢約260名が参集。早稲田側からは東京23区の各稲門会囲碁部を中心に、早稲田大学囲碁部、各稲門会の三多摩地区、横浜市、早大教職員組合等。なお、世田谷稲門会からはこの親善試合に5名参加した。プロからは、早稲田出身の青葉かおり4段が出席。指導碁を担当。参加者は早慶の親善対局として各2局。親善試合は総合で早稲田側の勝に終わった。終了後、早慶の挨拶に続いて、特別参加の大竹九段より大盤にて解説があった。早慶OBの親睦を旨とした懇親会では来年行われる慶応大学の150周年記念の囲碁大会には早稲田OBより大挙して参加する旨を約束し、両校の校歌を斉唱、和気藹々のうちに散会した。

(矢田 廣/記)



# 空前の盛り上がり

アトラクション第一部は昭和55年政経卒でキャロット会メンバーのシャンソン歌手・花田玲子さんがピアノを弾きながらのシャンソンを披露。「バラ色の人生」「聞かせてよ愛の言葉を」「愛の賛歌」と懐かしい曲を歌うごとに盛大な拍手を受けた。また熱烈なアンコールに応じて「青空に住もう」を熱唱。続いて第2部は寺島邦夫さん(昭38年政経)が属するナインティ ウェスト ジャズバンド(早大ニューオーリンズジャズクラブOBバンド)が揃いのユニホーム・ハットで華やかにディキシランドジャズを演奏。「The world is waiting for the sunrise」など名曲を演奏する度に会場は一段と盛り上がった。元歌手の加藤禮子さん(昭27年文)が飛び入りで「You are my sunshine」などを美声で披露する一幕もあった。最後は「聖者が街にやって来る」を客席の間を練り歩きながら演奏し、出席者の手拍子も加わってショーは最高潮に達した。会場では「空前の盛り上がりで、来年の世田谷稲門祭が楽しみになった」との声が聞かれた。興奮さめやらぬうちに閉会の時刻となり、岩上健一副会長のリードで校歌を斉唱して散会した。  
(岩村 明彦/記 横田 吉明/写真)





# シャンソンとジャズに沸く

## 2007世田谷稲門祭

恒例の納涼会を衣替えした世田谷稲門祭は9月8日(土)午後6時から小田急線参宮橋駅近くの代々木倶楽部(新日鉄研修所)で開かれた。会場は緑が映える森の一隅にあり、枯山水の日本庭園に面した閑静なたたずまいをみせる。今回は72名(他にバンドメンバー8名)が参加し、女性会員や夫人同伴者も目立ち、いつになく華やいだ雰囲気包まれた。稲門祭はジャズバンドの演奏「紺碧の空」で開幕、島田實幹事の司会で進行。挨拶・乾杯発声に立った土倉亨一会長が納涼会の時期を初秋にずらしたと説明したあと、「今年は母校の記念すべき125周年であり、これを契機に恒例の納涼会を『世田谷稲門祭』と改称したい」と提案、満場の拍手で了承し、乾杯とともに手づくりの『第一回世田谷稲門祭 シャンソンとジャズのディナーショー』が始まった。会場は自由席方式に設営され、思い思いに席をとった出席者は一時間ほど料理と飲み物を味わいながら歓談した。続いて期待のアトラクションが開演した。





## カラオケ

年1度のカラオケ旅行会で9月24日、25日河口湖に行ってきました。風のテラス「kukuna」(旧河口湖第一ホテル)に総員12名(女性2名)が現地集合。曇っていた空模様も薄日がさしてきて霊峰富士がその勇姿を現し、湖面に逆さ富士を映し出し正に至福の境地に達しました。ホテルの各部屋のワイドなガラス窓を通し、また9階の露天風呂からも湖上に浮かぶ富士を十分堪能することが出来ました。宴会ではご当地クイズをした後、貸しきりのサロンに移り喉を潤しながら、7時から9時半まで各自3、4曲ずつ唄いました。鈴木宏治氏の「夜の銀狐」等ムード調、斉藤部会長の「津軽海峡」等演歌調、女性群(柏さん、犀川さん)の「日本橋から」等艶歌調、ナツメロ、新曲等有り、最後に「紺碧の空」を斉唱して河口湖の夜は終わりました。

翌日は秋晴れで爽やかな朝を迎えました。観光バスをチャーターし9時半、ゆったりした気分での出発。まず高岳風穴に行き、気温3度の洞窟を探検、次に名水百選の忍野八海に回り、澄み切った水、神秘的な美しさに魅了されました。バスは河口湖に戻り、ラベンダー畑を通り河口湖ミュージアムにて創作人形作家与勇輝(アタエウキ)の愛情いっぱい受けた繊細な人形を觀賞し、その素晴らしさに一同感動しました。昼食は綾小路きみまろがプロデュースした「あ・うん亭」にてジンギスカン料理でワインを傾け、そよ風が舞うテラスで楽しいひと時を過ごしました。渋滞もなく夕刻新宿にて解散しました。

なお、当部会では楽しく明るく元気よく唄うことをモットーにしています。上手、下手は関係ありません。どうかお気軽にご参加ください。  
(清水 明雄/記)

## ゴルフ

本年度のゴルフ部会コンペは、桜の季節に第50回目の記念大会から始まり、飯能GCで開かれた第53回をもって無事に幕を閉じました。4大会を通じ145名の方が参加され、お陰様で益々賑やかさを増しております。後半2大会の様をお伝えいたします。第52回コンペは9月13日(木)相模湖CCで開催され、前日まで台風9号及び秋雨前線の影響で雨が降り続いていましたが、当日は晴れ間ものぞく天気となり、38名により熱



左から 清水さん、浜田さん、白木さん、寺澤さん

戦が繰り広げられ、好スコア一続出の一日となり、次の方(敬称略)が優勝の栄冠を勝ち取りました。

優勝者 総合:寺澤 徹 Gシニア:白木 茂 シニア:清水達雄 レディースベスト:浜田昭子。次に、第53回コンペが11月20日(火)飯能GCにおいて40名の参加により開かれ、紅葉の訪れがやや遅れているようでしたが、好天の下、当日は非常に難しいコース設定がされておりましたが、シーズンを締めくくるにふさわしい戦いとなり、その結果は次の通りです。



左から 白木さん、守屋さん、浜田ご夫妻

優勝者 総合:守屋寧夫 Gシニア:白木 茂 シニア:浜田康夫 レディースベスト:浜田昭子。コンペ終了後、森代表世話人の軽妙なる司会進行により表彰式、優勝者・新入会員等スピーチ、懇親会と楽しい一日でした。また、来シーズンの開催スケジュールは決定次第お知らせをいたします。新しい方々のご参加を大歓迎いたしますので、ぜひともご入会をいただきたくお待ちしております。

(熊谷 慶紀/記)

## ウォーキング

ウォーキング部会では、四季折々の風情を楽しみながら、毎月活発な活動をしております。最近行われたコースを紹介いたします。

- 10月14日: 金沢八景と周辺施設の散策
  - 10月24日: 葛西臨海公園でのバードウォッチング
  - 11月11日: 新百合ヶ丘周辺の多摩丘陵の散策
  - 12月9日: 芝増上寺から泉岳寺へ忠臣蔵を偲ぶ散策
  - 1月6日: (予定) 武蔵野吉祥寺周辺の七福神めぐり
- 東京に数多く残されている歴史的な遺産にめぐり合う楽しみに満ちたウォーキングに、ぜひ参加しませんか。

(江原 利次/記)





## 麻雀

1. 7月22日(日)善男善女27名が祖師谷大蔵の麻雀荘「天狗」(以下会場の記載無きのは同荘)に集い、口と技術を駆使し、ひと時を楽しんだ。試合は並み居る男性陣を尻目にレディー同士の熱い闘いとなり、人生経験に勝る庄司さんが初の優勝を遂げた。優勝・庄司真恵、準優勝・吉村登喜子、3位・磯田稔、4位・脇坂元彦、5位・郡山弘文、6位・田島功統

2. 8月25日(土)渋谷駅前の雀荘「スリーハンドレッド」で世田谷・目黒・渋谷の3区親睦麻雀大会を当部主催で開催した。当部は準優勝・木村滋、3位・上保幸夫、8位・奥田隆、10位・武田一成と大健闘した(参加人員24名)。

3. 9月9日(日)腕自慢の自称プロが22名集い技を競った。試合は前半飛び出した寺澤氏が後半自粛する間に混戦模様となり、池田氏がタッチの差で加藤氏を抑え初優勝した。優勝・池田良夫、準優勝・加藤禮子、3位・上保幸夫、4位・秋元孝禧、5位・寺澤隆夫、6位・武田一成

4. 10月13日(土)日本晴れの半日を25名の同好の士が死闘を演じた。前半のスローペースの展開が後半一転して弱肉強食の様相を呈し、尻上がりに実力を発揮した暮田氏が先行する郡山氏を最終コーナーで捕らえタッチの差で初優勝した。優勝・暮田忠雄、準優勝・郡山弘文、3位・高橋毅、4位・武田一成、5位・木村滋

5. 11月18日(日)秋晴れの一、24名の紳士淑女が品よく卓を囲み優勝を目指して凌ぎをけずった。スタートからダッシュした河村レディーが一度も首位を譲らず大差で優勝した。優勝・河村暉子、準優勝・大矢和親、3位・奥田隆、4位・吉村登喜子、5位・能俊彦、6位・上保幸夫 (下谷内 堯/記)

## ボウリング

当部会は毎月1回渋谷稲門会と合同して世田谷オークラボウルで例会を開催しておりますが、去る11月12日には120回目を迎えることができました。最近の活動実績は次の通りです。

8月5日(日) 参加者10名。149点:新井武、149点:天野善弘、143点:江口力。  
新井さん、天野さん、スピード、制球力とも抜群のお2人、お互いに持ち味を発揮して最後まで大接戦、同点トップで見応え十分。江口さんも相変わらず絶妙の球捌きで高得点。

9月16日(日) 参加者12名。177点:佐山順孝、144点:宮木甫、144点高橋善一郎。  
佐山さん、前半4連続スペアー、後半3連続ストライクを出して殆どミスのない快心の投球、お見事。宮木さん、高橋さんも共に技巧派の面目躍如、シーソーゲームで同点引き分け。

10月は日曜日が全て団体貸切のため予約とれず休会。

11月4日(日) 参加者9名。184点:武藤哲、154点佐山順孝、136点:天野善弘。  
小生武藤、ボウリングを始めて30数年、初めての5連続ストライクを出して我ながらびっくり!佐山さんも4ストライク、3スペアー、天野さんも2ストライク、4スペアーを出して実力発揮の大健闘。

ボウリングは足腰を強化して体力の衰え防止、ストレスを解消して生活の充実に最適のスポーツ。3ゲーム1時間強の運動は疲労感も少なく、お互いに談笑しながらの投球は楽しいもの。初心者大歓迎、お気軽にご参加のほどお待ちしております。

(武藤 哲/記)

## ブロック会だより

### 玉川

9月15日(土)、玉川会で“カラオケを楽しむ会”を開催しました。当会は昨年発足したので今回が第2回目となります。田園調布駅改札口に会員の奥様1名を含む11名が集合、タクシーに分乗してまずは田園調布一丁目にあるそば処「おおたにや」へ。ここで腹ごしらえをしながらビール等で軽く喉を潤した後、午後1時に同店地下にあるミュージックパブ「ラマンチャ」に移動しました。浜田代表世話人の挨拶の後、早速開始となりましたが、カラオケ好きの人が集まっているだけあって、次から次へとリクエスト曲がインプットされ、ひたすら歌い続けました。途中でオーナーの素晴らしい歌唱披露とカラオケを上手に歌うコツのマル秘伝授もあって、参加者全員耳を澄まして聴き入りました。最後は磯田氏のリードにより全員で校歌を歌って4時過ぎにお開きとなりました。

(太田 隆/記)





## けやき

8月11日(土)17時から会員の地元・経堂の「かごの屋」和室にて本年度第1回目の懇親会を講師はじめ19名が出席して開催した。今回は母校創立125周年という記念すべき年に呼応し、春の東京6大学野球および夏の全日本大学学生選抜大会に優勝という二重の喜びに沸く母校体育局野球部のOBで、元「北陸西武」代表取締役社長の米山忠徳氏を講師にお招きし「野球部生活と私の人生」と題してお話していただいた。米山氏は出席

会員とほぼ同世代で、青春時代の4年間を母校野球部に捧げた方であり、汗と涙と感激と喜びの生活をユーモアを交えて話され、出席者の過ぎし日への郷愁と共感を呼んだ。

特に安藤投手の伝説的六連戦の大活躍の本人及び周囲のご苦労、徳武内野手のロマンスのお手伝いなどの話は出席者全員の同情と微笑を誘った。講演・会食後、同氏のご好意で提供された優勝祝賀会会場で配られた優勝記念ボール及びハンカチ王子を中心に撮影された大型写真の超低価格オークションや、活発な質疑応答が出席者の共感と爆笑を誘った。最後に岩上世田谷稲門会副会長のリードにより恒例の校歌斉唱を行い、次回での再会を約して散会した。

(下谷内 堯/記)



## キャロット

昨年に引き続き今年も11月27日(火)、三軒茶屋の「黄龍」において会員16名が参加して忘年会を開催。「黄龍」は会員の阿部俊夫さん(昭35年政経)が腕によりをかける台湾料理店です。稲門会の会員は、どなたも波乱に富んだ人生経験やユニークな趣味、嗜好を持ち合わせておられるはず。そこで、事前にご当人の了解を得て、その一端を会席で皆さんにご披露していただけたら、楽しいものになるだろうと期待して前回からスタートしました。

今回は2回目で、佐野暢彦さん(昭34年法)から、京橋の「東京近代美術クラブ画廊」で開催された『グループ彩虹展』(10月28日～11月3日)に出品し、造詣が深い「透明水彩」について蘊蓄を傾けていただきました。もうおひとり、風間ゆたかさん(平成7年政経)からは、新進気鋭の眼から見た「世田谷区政」に関するよもやま話を語っていただき、有意義な懇親の会となりました。

(萩原 健/記)

## きぬた

前号でお知らせしたとおり、当会は8月24日(金)午後6時より、会員16名、士倉会長、3副会長・幹事にもおいでいただき、総勢23名で会員の犀川千代子弁護士のお話「私の弁護士体験～弱者のがわに立って～」を伺い、その後、成城のレストランで懇親会を行いました。「早大OG初めての弁護士」とあって、最初のうちは相当の“差別”があった由、男性陣にはかなり耳の痛い話でした。その後は「多摩川水害国賠訴訟」はじめ「ココ山岡ダイヤモンド被害事件」「大和都市管財国賠訴訟事件」等など、終始“弱者のがわに立つ”というスタンスで弁護士活動に当たられているとのこと、まさに“在野精神”を体現されていると感じました。それにしても筆者と小学校の同級生で、オトナシカッタ千代ちゃんがこれほどの闘志溢れるファイターになるとは、早稲田の教育の成果でしょうか。19時過ぎからの懇親会では、弁護士を中心に、いろいろ話が飛び交い、楽しいひと時を過ごしました。

(吉村 豪介/記)





# さくら

第12回世田谷稲門会さくら会は10月14日(日)午前11:30、桜新町イタリアンレストラン「ラ・ピアンタ」にて開催。出席者19名。新入会員の自己紹介の後、鈴木幹事長より早稲田祭及び125周年の行事に関する説明あり。次いで、中瀬正一氏の戦後、進駐軍、及び戦犯の裁判等で通訳として活躍された人生経験のご披露等。また前原祖彦氏より最近の政財界の動き等に関する興味深いお話があった。なお、文化的活動としては高橋悦男早稲田大学名誉教授の指導のもと、さくら会内に俳句の会を設立。毎月1回、主として桜新町の区民集会所で句会を開いている。その活動は既に1年を超え、メンバーの作った俳句のうち、高橋先生の推薦を得たものについては、その都度次のさくら会で江原世話人より皆に披露されている。11月8日(木)京王線高幡不動にて高橋先生の句碑を見学、吟行のうえ、句会を開催。

更にもう一つ、昨年(2018)の11月23日、講師の佐々木恵美子氏を招いて古美術等を勉強する古美術鑑賞会を発足させ、今後徐々に講義のほか、美術館、博物館巡り等の企画も加えてゆきたいと考えていたが、最近、参加会員が5人をきることもあり、人数が集まらなくなったため、今後、希望者は佐々木先生の自宅で開催する講義に直接参加することにして、さくら会内での勉強会は発展的に解消することとした。

(矢田 廣/記)

# 西 北

第15回目の西北会は11月28日に何時もの参宮橋の新日鉄代々木倶楽部で開催しました。初参加の大野勝彦さんを加え総勢20名の出席でした。今回は麻生卓司氏(34年政経)に来年4月に伊勢丹と経営統合する「三越のOBとして」と題して講演をして頂きました。34年大卒入社20名中何と慶応15名、早稲田1人。慶応が創業以来かなり三越に人材を提供してきた経緯があり、その絆は半端ではなかったようです。女子店員の質の悪さを指摘したら人事の採用担当に配置になり、年間4千名もの女性と面接し、それ以来女性が嫌い(?)になったとはご本人の弁。日本三大不美人の産地仙台支店(因みに他は名古屋、水戸との事。これは世間で一般に言われている事で、出身の方には失礼、他意は無いとの事)時代の話。飲み屋とかクラブの美人はほとんど秋田か港町(何故か港には美人が多いそうです)出身者だったそうです。



皇室と三越の関係にも触れられ、特に昭和天皇は三越最顶层で、背広から一切合財三越から調達されたようです。現天皇は、正田家が高島屋のせいか三越は全く利用されないようです。又昭和天皇の棺の注文、羽田空港に皇室専用の控の部屋が出来た時見学した事等々興味深いお話を拝聴しました。

来春の経営統合については、売り上げ減少が続いているデパート業界、お互いに新しい刺激が加わる事で上昇気流に乗ってほしいと、後輩達にエールを送られて話を締められました。その後は手作り豆腐等洋折衷の料理に舌鼓ながら楽しく懇談しました。

次回は正月、矢島先輩の北澤八幡神社に参拝予定です。

(松浦 晋三郎/記)

# ブロック会

ブロック名	世話人代表	電話・FAX	地域・町名
西北会	松浦 晋三郎	Tel & Fax3325-2320	京王線代田橋～下高井戸、井の頭線池の上～明大前 小田急東北沢～代田、北沢・大原・羽根木・松原・代沢・代田
千歳会	武藤 哲	Tel & Fax 3302-2607	京王線桜上水～千歳鳥山 桜上水・上北沢・八幡山・南/北鳥山・給田・上祖師谷・粕谷
けやき会	下谷内 堯	Tel & Fax3789-1824	小田急線梅が丘～千歳船橋、世田谷線 梅が丘・豪徳寺・経堂・宮坂・桜・船橋・赤堤
キャロット会	萩原 健	Tel & Fax3422-0886	田園都市線池尻大橋～駒沢 池尻・三宿・野沢・太子堂・若林・三軒茶屋・下馬・駒沢・駒沢公園
砧会	吉村 豪介	Tel & Fax3483-7052	小田急線祖師谷大蔵～喜多見 成城・砧・祖師谷・大蔵・砧公園
玉川会	浜田 康夫	Tel & Fax3704-0226	大井町線自由が丘～二子玉川 奥沢・尾山台・中町・上野毛・等々力・玉川台・宇奈根 玉川田園調布・野毛・東玉川・瀬田・岡本・鎌田
さくら会	矢田 廣	Tel3700-2500 Fax3700-1388	田園都市線桜新町～二子玉川 上用賀・用賀・新町・桜新町・深沢・弦巻・玉川台



### 新入会・退会・休会の正誤及び住所移転等のお知らせ

「名簿(平成18年4月発行)・会報35号記載分」以降 (敬称略)

#### (新入会員)

氏名	卒年学部	郵便番号	住所	電話	FAX
高橋 四郎	昭45 社会				
森 智之	平07 商				
武田 祥子	昭46 教育				
大野 勝彦	昭30 政経				
吹田 靖治	昭37 文				
倉田 秀道	昭59 社会				
下川 光二	昭33 商				

個人情報につき不掲載

#### (退会会員)

遠藤 昌彦	昭36 法				
榊原篤三郎	昭25 商				
星 武典	昭30 商				

#### (休会会員)

松居 泰三	昭31 政経				
津田 滋	昭37 法				

世田谷稲門会15年のあゆみ・訂正事項  
 P.11 役員氏名任期一覧  
 石綿 美知子 (正)教育 (誤)政経



© WASEDA UNIV.



土倉享一 会長 母校校友会から表彰

早稲田大学は創立一二五周年を迎えたが、この記念すべき年に、校友会では永年にわたり会の発展、特に各支部で尽力頂いた方の功績に感謝して世田谷稲門会土倉享一会長をはじめ全国の校友六十名を表彰し感謝状を送った。

#### 【会報編集委員連絡先】

- 岩村明彦**  
 Tel & Fax 3325-8681  
 メール aiwamura@jcom.home.ne.jp
- 江原利次**  
 Tel & Fax 5760 - 7118  
 メール toshi@r01.itscom.net
- 大内秀行**  
 Tel & Fax 3720 - 1402  
 メール ho.tyo@ezweb.ne.jp
- 寺島邦夫**  
 Tel & Fax 3413 - 5814  
 メール terashimakunio@ybb.ne.jp

**東京都二三区支部大会の予定**  
 東京都二三区支部大会は二〇〇八年三月二十一日(金)午後六時からリーガロイヤルホテル東京で開催される。  
 今回は講演者として森喜朗元首相を予定している。  
 なお会費など詳細は未定。

### 編集後記

創立125周年記念行事は2日間にわたって開催されましたが、その規模、内容の豊富さ動員力などなど、知れば知るほど準備段階からの大学当局はもちろんのこと、ボランティアで活動されたOB各位のご苦勞のほどが推察できました。お疲れ様でした。特集ページでその一端でもくみとっていただけたら幸いです。(寺島邦夫)

早稲田大学創立125周年記念に当会も積極的に協賛して来ましたが、その2007年も有終の美を飾りながらもなく終ろうとしています。この場を借りて、皆様のご協力への感謝と益々のご多幸をお祈り申し上げます。(江原利次)

9月の『世田谷稲門祭』は大変楽しく、いささか興奮しました。ツーショット、グループショットの顔写真は、本来ならご本人の掲載了解を取るべきですが、読者限定の会報ということに甘えて、勝手に掲載しました。悪しからずご了承ください。原稿の送付に関して。パソコンで入力した原稿がファックスないし郵便で送られてくる場合があります。パソコン入力原稿は、そのままメールで送信(あるいは原稿を添付したメール送信)していただくと、編集制作上、大変助かります。またパソコン入力のソフトはワードを使用していただけると好都合です。よろしく申し上げます。(岩村 明彦)